

「古道探索倶楽部」の活動を紹介します

犬走東道（さいたま市・友の会理事）

「古道探索倶楽部」は、歴史と民俗の博物館友の会内に歴史サークルとして、鎌倉街道中道に関する伝承・言伝え・エピソード等を文献・古地図等をもとに調査・収集し、知識の向上と親睦を深めるといふ趣旨に賛同いただいた9名の友の会会員で、私を中心となり平成24年末に立ち上げました。設立当初は、サークル名を「鎌倉古道を考える会」として、月1～2回の勉強・発表会・見学会が中心でした。

平成25年4月に現在の倶楽部名に改名し、年3～4回の散策イベントを企画し、友の会会報に参加者募集を募り、ツアーイベントを実施するようになりました。第1回の散策イベントは、鎌倉街道中道の岩槻部分尾ヶ崎～岩槻を私の解説で巡りました。以降第16回イベントまでに、鎌倉街道中道の県内部分を踏破致しました。第17回イベントより、現在、赤山街道を実施中です。

現在8回シリーズで実施中の赤山街道の説明を致します。赤山街道は、赤山陣屋を中心として、永田陣屋までの大宮道と、杉浦陣屋までの越谷道と、小菅陣屋までの千住道をいいます。伊奈氏は、この道を整備することにより、治水事業、新田開発、復興事業、都市計画等に利用していたと思われまふ。その辺を考えながら散策コースを選定してあります。伊奈氏は、初代伊奈忠次が天正19年に小室に陣屋を設けてから、12代^{ただたか}忠尊が寛政4年に関東郡代を罷免され、赤山陣屋が取り壊されるまでの200年間の永きに渡り、江戸幕府の中樞で、支配体制と財政基盤確立、新田開発、治水事業等果たした役割は非常に大きいものです。（伊奈氏の事績はブログに掲載します）

江戸時代という政治的な面のみ目がいつてもがちですが、当代唯一の民政家として果たした伊奈氏の役割は大きなものがあつたと思われまふ。そしてそこに果たした「赤山街道」の役割も忘れられまふせん。

散策イベントを参加者に更に喜んで頂けるように五つの仕掛けを実施してあります。

(1)散策途中で名物を賞味して戴くという提案を実施。たとえば、羽倉道の「いも羊羹」、大宮道の「満月弁当」「元祖ねぎ味噌煎餅」、越谷道大聖寺境内の「名物虹団子」等です。この企画は好評なので、今後とも続けていくつもりです。

(2)我々の勉強会資料を散策に役立てて頂こうとの趣旨で、イベント資料巻末に添付するようになりました。たとえば建築様式、鳥居の見方、門の種類、石塔・石仏、県内主な寺社、宗紋と寺紋、定期市と取引商品古代墳墓の種類、日本元号表等です。

(3)イベント毎の関連年表を巻末に添付するようになりました。

(4)多数回参加者に、記念品を贈呈するようになりました。（現在は『歴史散歩便利帳』を贈呈中）

(5)地元参加者の方々に積極的に部分的案内役をしていただくというものです。

最後に、今後とも、皆様に愛される倶楽部を目指してがんばってまいります。引き続きの御参加をお願いします。

お知らせ

友の会の通常総会を開催します。ご参加よろしくお願ひ申し上げます

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会通常総会

- ・日時 2018年(平成30年)5月27日(日) 午前10時から11時(午後は講演会)
- ・場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂
- ・内容 ①29年度事業・収支報告②30年度収支予算・事業計画案③役員改選④その他

今後のイベントスケジュール

*申込は『JUNO』に応募要項が掲載されてからお願いいたします。

ホームページ:<http://junosaitama.net/> ブログ:<http://hakutomobulog.at.webry.info/>

- 4月15日(日) 講演会「土器から見た日韓交流」 <前号で紹介>
- 5月11日(金) まち歩き研究会「毛呂山・鳩山町の史跡と文化財」 <今号で紹介>
- 5月26日(土) 古道探索倶楽部「第24回鎌倉街道を訪ねて」 <今号で紹介>
- 5月27日(日) 総会・講演会「古写真でみる幕末・明治維新」 <今号で紹介>

埼玉県立歴史と民俗の博物館 新しい人事(平成30年4月1日より) ■

お世話になりました。

■退職

館長 書上元博
(企画、学習支援担当) 主席学芸主幹 田中正夫
(資料調査・活用担当) 学芸主幹 栗島義明
(総務、施設担当) 担当部長 高柳和子
(企画担当) 学芸員 林 真美

■転出

(総務、施設担当) 副館長 福沢 景
(施設担当) 担当課長 河村紀明
(学習支援担当) 担当課長 佐藤雅裕
(学習支援担当) 主任学芸員 服部 武
(展示担当) 主任学芸員 関口真規子
(企画担当) 主任 山本賢太郎
(展示担当) 学芸員 浦木賢治
(総務担当) 主事 財津花奈子
(総務担当) 主事 大塚優希
(展示担当) 学芸員 青笹基史

よろしくお願ひします。

■転入

館長 関 義則
(総務、施設担当) 教育主幹 銭場正人
(総務、施設担当) 担当部長 奥木敬司
(企画、学習支援担当) 学芸主幹 新井浩文
(学習支援担当) 学芸主幹 西口由子
(学習支援担当) 担当課長 佐藤昌幸
(施設担当) 主任 内藤伸一
(展示担当) 学芸員 根ヶ山泰史
(展示担当) 主任専門員兼学芸員 杉山正司
(総務担当) 主事 徳田真琳
(展示担当) 学芸員 堀口智彦

■新採用職員

(総務担当) 主事 庄子亮平
(展示担当) 学芸員 尾崎沙羅
(資料調査・活用担当) 学芸員 濱田 翠

■臨時的任用職員

(企画担当) 学芸員 戸島みづき
(学習支援担当) 学芸員 村田 駿
(学習支援担当) 学芸員 前田伽南

■館内配置換

(展示担当) 学芸主幹 井上かおり
(企画担当) 主任専門員兼学芸員 杉崎茂樹
(資料調査・活用担当) 学芸員 戸邊優美

新所属

さきたま史跡の博物館 広報・学習支援、資料・展示、史跡整備担当 主席学芸主幹
(資料調査・活用担当) 主任専門員兼学芸員

久喜図書館総務、障害者サービス、子ども読書推進担当 副館長
財務課施設整備担当主査
川口市立慈林小学校教頭
嵐山史跡の博物館 学芸担当 主任学芸員
文書館 公文書担当 主任学芸員
越谷西特別支援学校主任
文化資源課指定文化財担当 主任
岩槻高等学校主事
総務課人事(事務局等)担当 主事
さきたま史跡の博物館 資料・展示担当 学芸員

前所属

さきたま史跡の博物館館長(兼) 嵐山史跡の博物館館長
久喜図書館総務、障害者サービス、子ども読書推進担当 教育主幹
生涯学習文化財課社会教育施設企画調整担当主幹
文書館 古文書、資料編さん担当学芸主幹
県民生活部広聴広報課企画調整担当(平和資料館駐在) 主幹
川口市立領家中学校主幹教諭
下水道局下水道事業課計画・管理・エネルギー担当技師
生涯学習文化財課指定文化財保護担当 主任
文書館館長
産業労働部先端産業課 推進担当 主事
生涯学習文化財課(福島県教育委員会派遣) 主事

(昇格)

(学習支援担当) 主任専門員兼学芸員
(展示担当) 学芸員

上岡観音(馬頭観音)の絵馬市(妙安寺)と周辺散策 友の会・お祭り研究クラブ 2月9日に開催

暖かい天候に恵まれ、14人の参加者は楽しい一日。妙安寺の境内にある馬頭観音は、今から約800年前の鎌倉時代に瑞慶和尚により軍馬や農耕馬の守り観音として信仰を集め、やがて旧陸軍の騎馬隊やバクロー、競馬界などの馬に関係する人々から崇められ、その信仰は東日本一帯に及び(略)界隈は観音さまを中心に街道筋の重要な宿場にもなっていました。そして毎年2月19日の縁日にはおおいに賑わったそうです。(略)

思わぬ転機が平成10年12月に訪れる。絵馬講により運営された絵馬市が『国の選択無形民俗文化財』になり、もと帳元の根岸氏が会長となり、絵馬市保存会を結成し、再び縁日に絵馬市が立つ。昔からの絵馬師でなく、本日の絵馬は飯能市の人が絵柄を書いたとのこと(材料は西川材?)。馬頭観音堂の前で集合写真、名残惜しいですが、昼食を摂りながら12時過ぎに観音堂を跡にする。(かなり省略。詳しくはブログで)



武蔵浦和駅周辺—謎の地名「鹿手袋」を歩く

友の会・まち歩き研究会 3月23日に開催



今回の「まち歩き」はソメイヨシノの花が咲き始める気候の中、浦和の西南部・武蔵浦和駅が中心。参加は32名。JR埼京線・武蔵野線の「武蔵浦和駅」に集合、近年、急速に発展してきた街ということでまずは場所の説明からスタート。駅すぐ横の田島通りを中心に、「鹿手袋」という珍しい地名の周囲を縦横に流れる排水路を中心とした散歩になりました。

睦神社、もとは富士浅間社で、大宮台地上の崖線にあります。かつてはここで雨乞い神事が行われたそうです。この地が海(太平洋!)に面した温暖な地であったことを示す社叢林は市の天然記念物です。(略)崖線に沿って進むと、これもかつての入間川の川筋を残す白幡沼。その畔には女人講の

ものと思われる庚申塔が静かに建っています。次いで白幡観音堂、田島観音堂へ。裏の遊歩道が「田島排水路」。鴻沼川まで伸びています。歴時代以前に流れていた河川(入間川)が鹿手袋地域を区切っているのです。

次に、これもかつての河川の後を利用した別所排水路は「花と緑の散歩道」となって新幹線と並行して別所沼公園まで伸びています。入間川の川跡といわれる別所沼公園の池を見ながら昼食休憩。午後は新明神社古墳を見学。最後は玉蔵院を訪れ、豪華な地藏堂と満開のシダレザクラを堪能しながら浦和駅に。(一部略)

◆第24回鎌倉街道を訪ねて 鎌倉街道中道栗橋から古河まで◆

2018(平成30)年5月26日(土)「古道探索倶楽部」

《日時》2018年(平成30年)5月26日(土) 9時30分~15時30分(予定)

《集合》宇都宮線栗橋駅改札口周辺

《コース》JR栗橋駅⇒栗橋関所跡⇒(利根川)⇒(中田)光了寺⇒古河総合公園(牧野地・古河公方跡・昼食)⇒長谷寺⇒鷹見泉石記念館⇒古河歴史博物館⇒頼政神社⇒永井寺⇒正定寺⇒JR古河駅

《参加費》資料代・古河歴史博物館入館料等600円《その他》途中にコンビニが少ないので、お弁当と飲物は必ず事前に御用意願います。少雨決行(悪天候時は連絡)。歩行距離は約10km、史跡巡りをいれ12km少々

《問合せ先》前日まで犬走(いぬばしり) 048-756-5634 当日 小俣(おまた) 090-3436-9017

《参加申込み》5月18日(金)までに、普通ハガキに氏名・住所・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)を明記して 〒339-0058さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道あて。

◆毛呂山・鳩山町の史跡と文化財、新緑の古道◆

2018(平成30)年5月11日に「まち歩き研究会」

《期日》2018年(平成30年)5月11日(金) 10時00分~14時00分:今回は雨天中止です

《集合》東武越生(おごせ)線・川角駅 改札出口 10時(東武東上線・坂戸駅09:47発が便利です)

《費用》交通費各自 参加費用・保険代他300円 《持物等》歩行中心の服装。飲物・お弁当など持参。

《行程》毛呂山・鳩山町の史跡・文化財や新緑の鎌倉街道古道、越辺川岸を歩きます。最後のおしゃもじ山はツツジの名所。コースは川角駅⇒鎌倉古道史跡⇒毛呂山歴史民俗資料館⇒川角古墳群⇒崇徳寺跡⇒苦林古戦場跡⇒越辺川⇒おしゃもじ山(昼食場所)⇒解散(坂戸駅までバス便有)⇒希望者は笛吹峠まで歩きます

《申込・問合せ》①FAX: 048-470-2758 ②Eメール(筑井): pu8n-tki@asahi-net.or.jp

③「ホームページ」の「申込フォーム」より送信フォームで。

古写真 で見る 幕末・ 明治維新



サンフランシスコで撮影された岩倉使節団（特命全権大使岩倉具視と副使たち）左より木戸孝允、山口尚芳、岩倉具視、伊藤博文、大久保利通（明治4年）写真：日本カメラ博物館所蔵

欧米視察に意気込む岩倉具視の髻（貴族の威厳を示す）は最後まで結ばれていたのであろうか？ 不仲が囁かれる木戸孝允と大久保利通は一緒に帰国したのであるか？ 一枚の写真からその人物のドラマが見えてくる。古写真はその時代を写す生写真である。今回は古写真研究家の井桜直美先生に多くの写真と共にそれにまつわるお話をお聴きします。

講師 **井桜直美** 先生

日本カメラ博物館・古写真研究員

日時 5月27日（日）午後1時半～3時（午前10時から総会）

場所 当館講堂 東武アーバンパークライン（東武野田線）
大宮公園駅下車徒歩5分

参加費 300円 当日は返信ハガキをお持ちください。

申込み 往復ハガキに講演会名・住所・氏名・会員番号を明記し、〒330-0803
さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会宛

締切り 5月20日（定員150名を超えた場合はお断りすることもあります）

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会